

平成22年度一般会計予算案否決 修正へ！

3月定例会 (3月2日～12日)

平成22年第1回定例会を3月2日から12日まで11日間の会期で開催しました。町から提案された議案は、条例の制定等9件、平成21年度補正予算関係が9件、平成22年度予算関係が9件の全27議案です。審議結果については3ページと7ページに掲載しています。平成22年度一般会計及び各特別会計予算案の審議については、予算審査特別委員会を3月9日、10日に開催し詳細な質疑を行いました。定例会最終日に採決をしましたが、一般会計予算案については否決されたため、関連性のある各特別会計等予算案8件は議決に至らず審議未了で廃案になりました。

また、平成20年9月から継続して審査をしてきました政治倫理条例については、賛成多数で可決しました。(詳しい内容については12ページに掲載)

その他、発議案1件、請願1件、陳情2件を審議し、2件の意見書を提出しました。一般質問は4議員が行いました。

予算審査特別委員会を開催 (3月9日・10日)

一般会計予算【賛成8・反対4】可決！

3月定例会会期中、議員全員が委員となって新年度予算案について審議を行いました。一般会計否決の主な理由となりました滞在型市民農園に関連する内容についても、細かい質疑がありました。一部の内容を4～5ページに掲載しています。



3月定例会新年度予算採決 (3月12日)

一般会計予算【賛成7・反対10】で否決！



平成22年度予算案について 討論しました

賛成



加瀬芳廣議員
住みたくなる町づくりへの姿勢がみられます

賛成の立場から討論します。新年度予算は、町民の健康と幸せのために環境を整備し、住みたくなる町づくりへの姿勢がみられます。一般会計の主な事業では、総合計画の基本構想、空港シャトルバスの運行、小規模土地改

良事業への補助、空港の効果を東側へとの考えから町道飯笹西古内線の整備などがあります。滞在型市民農園については、地域の活性化を図るために多古町のよさを活かして計画策定するものと思われま

学校給食では調理全面委託で効率をはかり、健康保険では安心のための基金に配慮しています。介護保険では計画通り実施しています。病院事業では常勤9名の医師で診療し、医師と患者さんの信頼の絆を太くしています。水道事業では安心安全な水を安定して供給し、災害に強い鉄管への敷設替えも終わります。これら全会計予算に賛成するものです。

反対



椎名義光議員
住民の負担軽減のために努力が必要です

子供の医療費助成を中学3年生までにすることは評価できますが、国保税の軽減が必要時期です。幼児一元化保育を目指すことが示されましたが、現在でも保育士の臨時職員を増やして疑問が生じます。学校給食で

は民間委託にすることは、財政を優先しており認めることはできません。介護保険は保険料や利用料が増えながら、施設サービスの体制は充分ではありません。後期高齢者医療制度は4年間先延ばしにされ、差別医療が続けるこの制度は認められません。

地方交付税の増ということから瞬間的ではありませんが町財政は十分な体力を持っています。住民の負担軽減のための財源はあります。しかし、予算の中で道路整備基金に積み増し、2億円の使途を固定化したことは問題です。全部を反対するという立場ではないことを表明し、反対の討論にします。

反対



所一重議員
今町がやるべきことは滞在型市民農園ではないはず

成田市との合併が実現不可能となり、町民の間では財政は大丈夫なのか、等と将来を危惧する声とともに、合併しないで町政運営が出来るのなら4年前菅澤町長は何故あれほど不安をおおったのか、という疑問の声が寄せられる中であって、菅澤町長は22年度予算に、独りよがりとも思える滞在型市民農園関連費を計上されました。整備計画では、2億7800万円とのことですが、土地代を含めれば総事業費は、4億、5億にもなるであろうと想定される事業です。

2月に先進地を視察した折、既に同規模の施設を建設、運営している町からの説明では、「投資しただけのメリットは無いに等しい」ということでありました。そのことが証明するように、貴重な町民の皆様のお金を使っても町外都市部のわずか20名程度のために造る宿泊滞在型施設を極めて低価で賃貸する内容で多古町民にはほぼ何のメリットもない施設に何故4億、5億もの莫大な資金を使わなければならないのか。そのような道理が全く見当たりません。町民の代弁者であり行政のチェック機関である私たち議員は断じて認める訳にはいきません。

現下の多古町では特老施設への入所待ちが100名を超えています。親と子が遊べる施設も、図書館もありません。やるべきことは町民が利用できる滞在型市民農園ではないはず。よって私は平成22年度多古町一般会計予算案に反対をします。

平成22年度予算審議結果

予 算	第1回定例会 (3/12) 結果		第2回臨時議会 (3/18) 結果 (町再提案)
一般会計	否決【賛成7・反対10】	⇒	可決【賛成15・反対2】
学校給食センター事業特別会計	審議未了 (廃案)	⇒	可決【賛成15・反対2】
国民健康保険事業特別会計	審議未了 (廃案)	⇒	可決【賛成15・反対2】
老人保健特別会計	審議未了 (廃案)	⇒	可決【賛成全員】
農業集落排水事業特別会計	審議未了 (廃案)	⇒	可決【賛成全員】
介護保険事業特別会計	審議未了 (廃案)	⇒	可決【賛成15・反対2】
後期高齢者医療特別会計	審議未了 (廃案)	⇒	可決【賛成14・反対3】
国保多古中央病院事業会計	審議未了 (廃案)	⇒	可決【賛成全員】
水道事業会計	審議未了 (廃案)	⇒	可決【賛成全員】

第2回臨時議会を開催! (3月18日)

一般会計を修正し可決! 57億2,375万円

一般会計予算【賛成15・反対2】

3月定例会で否決となった一般会計予算案については、町長から一部を修正して再提出されたため、3月18日臨時議会を開催し、審議を行いました。修正箇所は、滞在型市民農園設計委託料2,128万円、及びこれに関連する滞在型市民農園推進対策協議会補助金20万円を削除するものです。修正後の歳入歳出予算は、57億2,375万円です。広瀬弘二議員、椎名義光議員より討論があり、採決をしました。【賛成15・反対2】で可決されました。その他、審議未了となった、各特別会計予算案については改めて提出され、すべて原案通り可決されました。

討論の内容、予算の状況については、6ページに掲載しています。